

町田市子どもの発達支援に関する調査

【サービス提供事業所の皆様へ】

事業所の概要について

問1. 貴事業所で提供している児童福祉法に基づく障がい児福祉サービスをお答えください。【あてはまるもの全てに○】

27.8%. 児童発達支援事業	16.7%. 障害児相談支援事業
66.7%. 放課後等デイサービス事業	2.8%. その他（ ）

問2. 貴事業所の事業開始年度を西暦でお答えください。

【数字を記入】

平均値：2014年度

問3. 貴事業所の職員数および、契約者数をお答えください。

※契約者数については定員ではなく、実人数をお答えください。

【数字を記入】

区分		人数	
職員数	常勤職員	平均値	3.7人
	非常勤職員	平均値	5.1人
契約者数		平均値	33.2人

サービスの提供状況・体制について

問4. 貴事業所が提供しているサービスの利用ニーズは直近の3年間でどのように変化していますか。【〇は一つだけ】

61.1%. 増えている	11.1%. 減っている
16.7%. 変わらない	11.1%. わからない

問5. 貴事業所の利用状況について、最もあてはまるものを教えてください。【〇は一つだけ】

19.4%. 新規利用者を受け入れる余裕がある
33.3%. 利用日数等を調整すれば新規利用者を受け入れられる
44.4%. 新規利用者の受け入れは難しい

問6. 貴事業所の利用において、新型コロナウイルスによる「利用控え」の影響は現在でもありますか。【〇は一つだけ】

19.4%. ある	77.8%. ない
-----------	-----------

問7. 貴事業所では、サービスを提供するにあたり、必要な人材を確保できていますか。【〇は一つだけ】

8.3%. 余裕をもった人員を確保している	50.0%. 人員が不足している
38.9%. 必要十分な人員を確保している	2.8%. わからない

【問7で「3. 人員が不足している」を選択した方にお伺いいたします】

問8. 貴事業所において、サービスを提供する人材が不足している理由として考えられるものをお答えください。【あてはまるもの全てに〇】

16.7%. 離職・退職者が多い	33.3%. 個別支援の必要な利用者が多い
50.0%. 新規採用が少ない・ない	33.3%. サービス提供以外の業務負担が多い
38.9%. 人材の質が伴っていない	0%. わからない
	16.7%. その他 ()

【改めて全ての方にお伺いいたします】

問9. 貴事業所では医療的ケア児・重症心身障がい児を対応する体制がありますか。

【○は一つだけ】

- | |
|---------------------|
| 19.4%. ある |
| 0.0%. 以前はあったが、現在はない |
| 80.6%. ない |

【問9で「1. ある」を選択した方にお伺いいたします】

問10. いま現在、対応している子どもはいますか。

【○はいくつでも】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 85.7%. 医療的ケア児を対応している | 14.3%. いまは対応している子どもはいない |
| 0.0%. 重症心身障がい児を対応している | |

【問9で「2」・「3」を選択した方（体制が、以前はあったが、現在はない/ない）にお伺いいたします】

問11. 貴事業所で医療的ケア児・重症心身障がい児を対応する体制を整える上で、難度が高いと思うものをお答えください。

【○はいくつでも】

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 79.3%. 看護師等の人材の確保 | 37.9%. 既存職員への研修 |
| 69.0%. 機器等の施設整備 | 31.0%. 医療機関等との連携 |
| 41.4%. 安全管理マニュアル等の規定の整備 | 41.4%. 経営収支のバランス |
| | 0.0%. その他（ ） |

問12. 今後、医療的ケア児や重症心身障がい児を対応する体制を整備する予定はありますか。

【○は一つだけ】

- | | |
|----------|-----------|
| 6.9%. ある | 93.1%. ない |
|----------|-----------|

【問12で「1. ある」を選択した方にお伺いいたします】

問13. 今後、どのくらいで医療的ケア児や重症心身障がい児を対応する体制を整備する予定ですか。

【○は一つだけ】

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 100.0%. 具体的には決まっていない | 0.0%. 2029年までには整備する予定 |
| 0.0%. 2026年までには整備する予定 | 0.0%. 2029年以降に整備する予定 |

【改めて全ての方にお伺いいたします】

問14. 今後、町田市内で新たな事業所を開設する予定はありますか。 【○は一つだけ】

27.8%. ある	72.2%. ない
-----------	-----------

【問14で「1. ある」を選択した方にお伺いいたします】

問15. 新たな事業所で提供を予定しているサービスをお答えください。

【あてはまるもの全てに○】

40.0%. 児童発達支援事業	0.0%. 障害児相談支援事業
90.0%. 放課後等デイサービス事業	0.0%. その他 ()

問16. 新たな事業所の開設又は確保・誘致にあたっての課題や不足していることについてお答えください。 【あてはまるもの全てに○】

90.0%. 福祉人材の確保
40.0%. 設備や介護機器の整備
80.0%. 事業所に適した物件情報
60.0%. 職員の確保、スキル向上、資格取得への取組み
20.0%. 地域の事業所間の連携強化
30.0%. 職員の処遇改善
0.0%. 特にない
0.0%. その他 ()

【改めて全ての方にお伺いいたします】

問17. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【〇はそれぞれに一つずつ】

	優先度が 高い	やや優先 度が高い	やや優先 度が低い	優先度が 低い
【記入例】 福祉サービスの情報提供の充実	1	②	3	4
福祉サービスの情報提供の充実	36.1%	52.8%	2.8%	0.0%
子どもの発達に関する相談体制の充実	72.2%	25.0%	2.8%	0.0%
相談窓口の対応力の向上	58.3%	33.3%	2.8%	0.0%
障がい特性や発達の遅れに関する市民の理解促進	19.4%	58.3%	13.9%	0.0%
障がい特性や発達の遅れに関する保護者への情報発信	50.0%	41.7%	2.8%	0.0%
保育・教育に関わる人材の対応力の向上	50.0%	44.4%	2.8%	0.0%
保育園・幼稚園等の医療的ケア児の受入強化	19.4%	61.1%	13.9%	0.0%
学校の医療的ケア児の受入強化	16.7%	44.4%	33.3%	0.0%
福祉サービス事業所の数や定員数の確保	38.9%	47.2%	8.3%	0.0%
福祉サービス事業所の職員の対応力の向上	41.7%	55.6%	0.0%	0.0%
子どもに関係する機関の連携強化	50.0%	44.4%	5.6%	0.0%
高校卒業後の居場所の確保	58.3%	27.8%	8.3%	2.8%
保護者の子育て・介護負担の軽減	41.7%	50.0%	5.6%	0.0%
障がいなどがある子どものきょうだいへの支援の充実	33.3%	50.0%	11.1%	2.8%
子どもが参加できる地域行事の充実	13.9%	55.6%	25.0%	0.0%
市街地や公共施設のバリアフリーの拡充	19.4%	58.3%	16.7%	0.0%
子どもの意見を踏まえたまちづくり	19.4%	52.8%	16.7%	2.8%

問18. 「子ども発達センター」は、2028年度以降に現在の「教育センター」（町田市木曽東3-1-3）の敷地内に設置を予定している複合施設（（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設）へ移転する予定です。複合化された後の「子ども発達センター」に求めるものについてあてはまるものをお選びください。 【あてはまるもの全てに○】
※運営は民間活力の導入を予定しています。

- 86.1%. 複合施設内で他のサービスとの連携が図れていること
- 75.0%. 職員・スタッフが充実していること
- 63.9%. これまでよりも窓口やサービスの申請方法がわかりやすくなっていること
- 83.3%. 障がい児が利用しやすい環境であること
- 66.7%. 施設へのアクセスがしやすく、駐車場が確保されていること
- 61.1%. 医療支援体制が充実していること
- 47.2%. 地域の方との繋がりがあること
- 41.7%. 地域や市民に施設の一部が開放されること
- 0.0%. 特に求めるものはない
- 8.3%. その他（)

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～